



① 修学旅行(1日目): マリン体験

恩納村ホテルモントレビーチにてシュノーケリング・ドラゴンボート乗船・クラフト体験

6月27日・28日に実施した3学年修学旅行は、沖縄県対処方針(新型コロナ関連)に則って、宿泊を伴わない0泊2日の日程で実施しました。当日の生徒集合時間は07:15でしたが、多くの生徒がAM7時には吉の浦会館駐車場に揃い、出発を待ちかねている様子。

1日目は恩納村のホテルモントレ・ビーチを利用してシュノーケリング体験、ドラゴンボート体験、クラフト体験(遊泳制限等のある生徒)などのメニューがありました。夏場は県内外でダイビング中及びシュノーケリング中の事故が多数発生するため、6名1グループでインストラクターから安全な器具の着用方法を学びます。また、安全に配慮してウエットスーツの上から救命胴衣を着用し、事前レッスンから入水、徐々に沖合へ進み1時間ほどの体験が終了です。



② 修学旅行(2日目): 班別自主学習・県立博物館

首里近辺の名所・旧跡を訪ね、琉球文化を感じながら県立博物館見学へとつなげます。

前日より少し遅めの7:30集合となった2日目、旅行団は首里城を目指します。予定時刻より少々遅れて首里城公園地下駐車場に到着し、生徒は各班単位で事前計画したコースへと去って行きました。暑い日差しが照りつける中、首里城を散策する班は日傘、帽子は必需品でしたね。



首里近辺での散策及び学習を終えた班は、昼食のため新都心へと移動してきます。ゆいレールを利用した班が多く、おもろまち駅に到着した生徒たちは少々疲れ気味ではありましたが、昼食を予定している飲食店へと向かって行きました。予定していた飲食店が休業日や探せなくてファストフード店でバーガー・ポテトで早々と食事をすませた班もあったようです。



(おもろまち駅を利用した班と一城先生)



(県立博物館で謎解き体験中の班員)

県立博物館では通常の博物館内見学の他、展示物等につまわる謎を解き明かしゴールを目指す体験型プログラムもあり、最後までチームワークが試される修学旅行となりました。翌日は、宿泊先でお披露目するはずだった余興・レク大会を開催し、爆笑ありの時間を過ごしました。